

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2020年12月15日提出
【発行者名】	カレラアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 廣川 雅一
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂一丁目12番32号アーク森ビル12階
【事務連絡者氏名】	秋永 芳郎
【電話番号】	03-6691-2017
【届出の対象とした募集 （売出）内国投資信託受 益証券に係るファンドの 名称】	メキシコ株式ファンド
【届出の対象とした募集 （売出）内国投資信託受 益証券の金額】	1,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日付で有価証券報告書を提出しましたので、2020年6月15日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報等を更新するため、また、その他の情報について訂正を行なうため本訂正届出書を提出いたします。

【訂正の内容】

原届出書の該当内容は、以下の内容に訂正いたします。下線部_____は訂正部分を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

（略）



メキシコについて



北米、中南米の巨大市場に隣接、立地で優位な工業国

国土面積	196万平方キロメートル(日本の約5倍)
人口	約1億2,619万人(2018年世界銀行)
首都	メキシコシティ
言語	スペイン語
通貨	メキシコペソ
GDP	約1兆2,582億USドル(2019年)
1人当たりGDP	約9,862USドル(2019年)
経常収支	約-44億USドル(2019年)

出所:外務省(2020年3月9日現在)、IMF(2020年10月見直し)

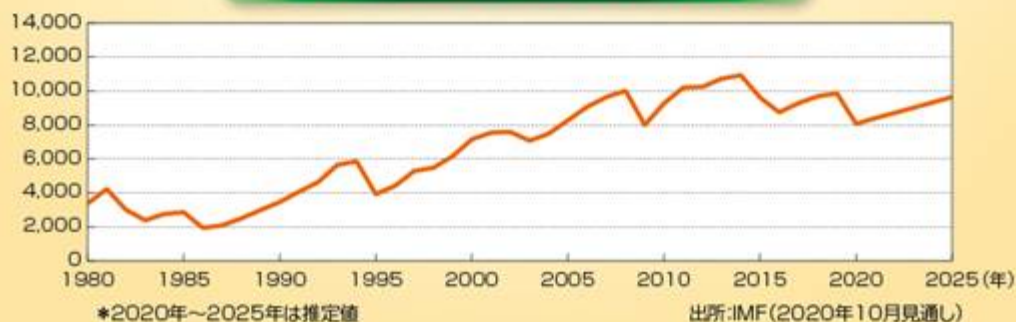


観光地としての魅力

- ・2018年外国人訪問客数メキシコ4,145万人(日本3,119万人)
- ・メキシコの世界遺産35件
古代都市チチェン・イツァ、古代都市ウシュマル、グアナファトと近隣の鉱山群など
- ・世界無形文化遺産の登録
2010年メキシコの伝統食文化(2013年:和食・日本人の伝統的食文化)
- ・ビーチリゾート地:カンクン、イスラ・ムヘーレス、アカプルコなど

出所:日本政府観光局、ユネスコ(2020年11月9日現在)

一人当たりGDP推移(USドル)



メキシコの強み

●FTA先進国

メキシコは約50カ国と自由貿易協定を締結。関税メリットがあり、輸出に有利。さらにCPTTP(TPP11)でアジア・太平洋地域への輸出拡大が見込まれる。

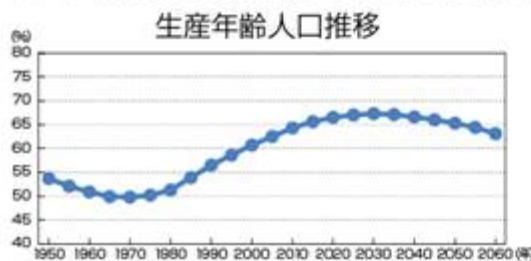
—主なFTA締結国—

北米	中南米	他
米国	エルサルバドル	イスラエル
カナダ	グアテマラ	日本
	ホンジュラス	
	ニカラガア	
欧州	チリ	
EU	コロンビア	
スイス	コスタリカ	
ノルウェー	ペルー	
アイスランド	ウルグアイ	
リヒテンシュタイン		

出所：当社調べ(2020年11月9日現在)

●人口ボーナス

メキシコの生産年齢人口(15歳～64歳)は2025年～2035年頃にピークを迎え、その後の減少も緩やかと予想される。



出所：国連World Population Prospects2019より作成(2020年11月9日現在)

●製造業集積地

米国に近いという恵まれた立地のため、毎年多くの海外からの直接投資がある。

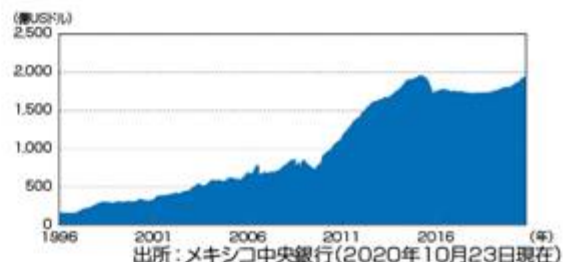
直接投資受入額 (単位：100万USD)

2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
27,131	25,558	21,739	48,207	30,434
2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
35,352	30,989	34,165	34,746	32,921

出所：UNCTAD統計より作成
(2020年11月9日現在)

●豊富な外貨準備高

外貨準備の備えは豊富で、自国の経済安定化に寄与する。



出所：メキシコ中央銀行(2020年10月23日現在)

メキシコの強みを活かした外国企業の輸出拠点

●世界6位の自動車生産国

メキシコは中南米一の自動車生産国であり、生産台数も年間約400万台に迫る。世界各国の大手自動車メーカーがメキシコに大型拠点を構えている。

トヨタ自動車

トヨタ自動車はグアナフアト州に新工場を新設し、新たな生産改革「TNGA」で「賢いクルマづくり」をメキシコで実現。

出所：当社調べ(2020年11月9日現在)

●成長する自動車産業

中南米一の自動車生産国。



出所：国際自動車工業連合会(2020年11月9日現在)

●メキシコの輸出相手国ランキング

2018年	1	2	3	4	5
輸出相手国	米国	カナダ	中国	ドイツ	スペイン
構成比	79.5%	3.1%	1.6%	1.6%	1.2%

●メキシコの輸出品目

2018年	農産・林産品	畜産・水産品	鉱産品	工業製品・同部品
金額 百万USD	14,255	1,999	36,804	397,514
構成比	3.2%	0.4%	8.2%	88.2%

工業製品・同部品の主要品目

2018年	自動車・同部品	電気・電子機器	産業用機械機器
金額 百万USD	142,177	71,985	62,451
構成比	31.6%	16.0%	13.9%

出所：JETRO資料(2020年11月9日現在)

経済成長を期待、個人消費も活発化

●GDP経済成長率

2021年以降のGDP成長率はプラス予想。

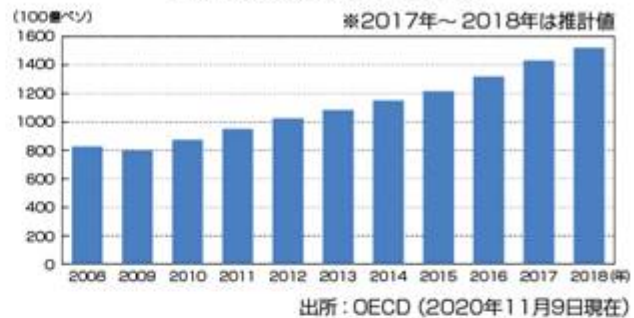
GDP経済成長率



●家計支出

雇用の安定化が所得増加に繋がり、消費活動を活発化させている。

最終家計消費支出推移



メキシコの株式市場について

●メキシコ証券取引所

場 所	メキシコシティ
主要株価指数	ボルサ(IPC)指数…メキシコ証券取引所の主要銘柄の時価総額加重平均で算出
取引時間	日本時間 22:30～5:00（夏）、23:30～6:00（冬）
時価総額	約3,118億USドル
上場企業数	144社

出所：国際取引所連合（2020年9月末現在）

●組入銘柄候補(例)

銘柄名	業 種	企 業 内 容
アメリカモビル	通信サービス	ワイヤレス通信会社。中南米諸国、カリブ諸島および米国などで、ワイヤレス通信サービスを手掛ける。
ウォルマート・メキシコ	生活必需品	大手小売会社。食品、衣料、その他商品を多様な店舗形式で販売する。
フォメント・エコノミコ・メヒカノ	生活必需品	総合飲料会社。子会社を通して、非アルコール飲料を生産・販売。コカコーラ社のシステムの一部として、中南米で事業展開する。
グルボ・メヒコ	素材	鉱山会社。金、銀、銅、モリブデン、鉛、亜鉛を採掘・精錬・販売する。パシフィック・ノルテとチワワ・パシフィック鉄道の営業権を所有。
セメックス	素材	セメントメーカー。セメントをはじめ、骨材、建材関連の製造、流通、販売を手掛ける。
グルボ・フィナンシエロ・パノルテ	金融	金融会社。銀行業務、プレミアムバンキング、ホールセールバンキング、ファクタリング、貸金庫、保険、年金、老後貯蓄などのサービスを提供する。
アルファ	資本財・サービス	多角経営会社。子会社を通して、石油化学、加工食品、自動車、通信ビジネスなどの事業を展開。
グルボ・テレビサ	一般消費財・サービス	メディア、エンターテインメント会社。スペイン語圏で事業を展開する。テレビ番組の制作・放映、プログラム作成、一般家庭向け衛星放送サービス、出版及び書籍流通、等。

※「組入銘柄候補(例)」はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。出所：当社調べ（2020年11月9日現在）

上記は信頼できると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性・完全性についてはカレラアセットマネジメントが保証するものではありません。

（略）

(3)【ファンドの仕組み】

<訂正前>

(略)

委託会社の概況

イ．資本金の額（2020年4月末日現在）

(略)

ハ．大株主の状況（2020年4月末日現在）

(略)

<訂正後>

(略)

委託会社の概況

イ．資本金の額（2020年10月末日現在）

(略)

ハ．大株主の状況（2020年10月末日現在）

(略)

2【投資方針】

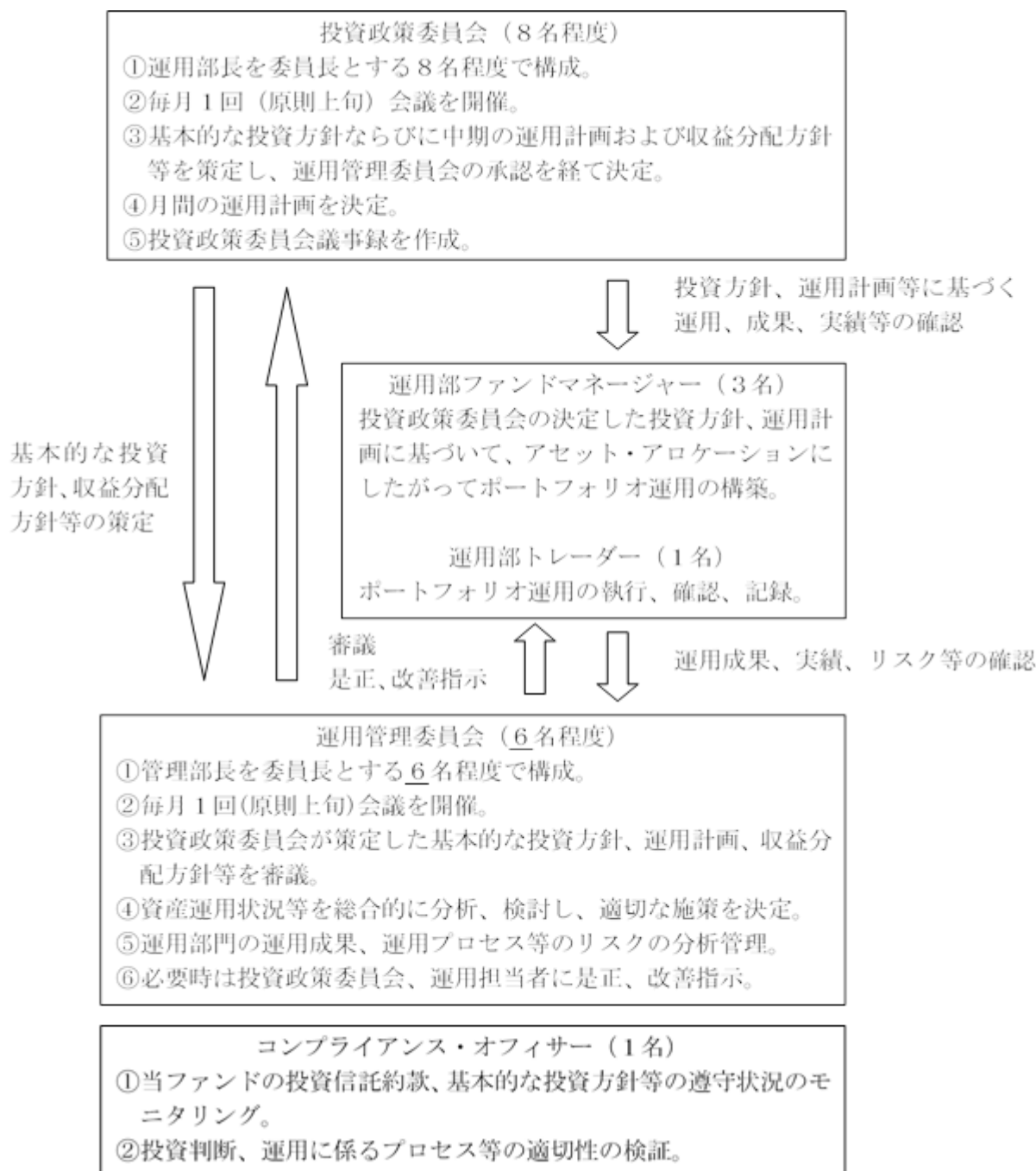
(3)【運用体制】

<訂正前>

運用体制

ファンドの運用体制は、以下の通りとなっています。

(略)



内部管理体制

(略)

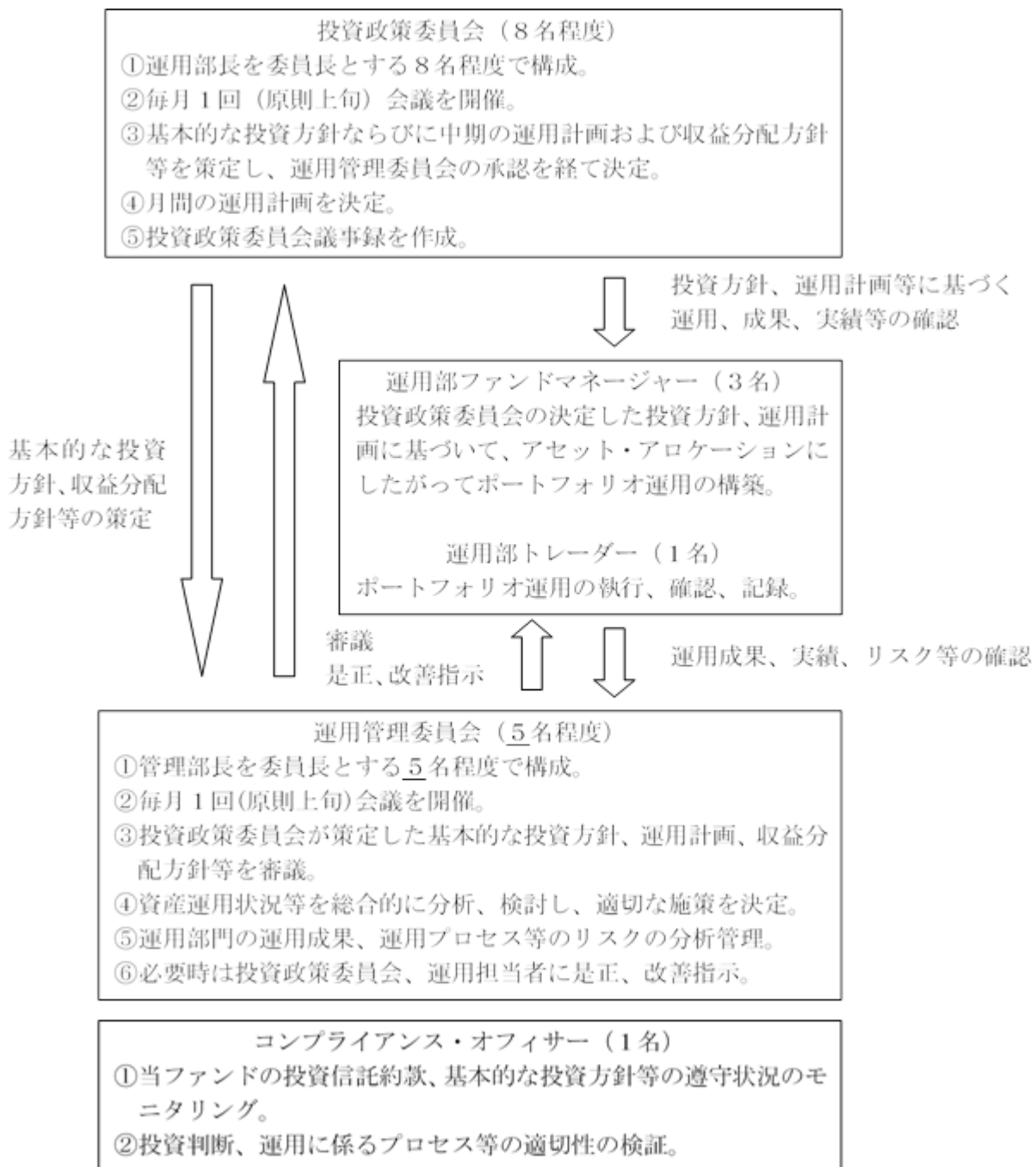
(注) 運用体制は2020年4月末日現在のものであり、今後、変更となる場合があります。

<訂正後>

運用体制

ファンドの運用体制は、以下の通りとなっています。

（略）



内部管理体制

（略）

（注）運用体制は2020年10月末日現在のものであり、今後、変更となる場合があります。

3【投資リスク】

<訂正前>

(略)

(3) リスク管理体制

(略)

(注) 投資リスクに対する管理体制は2020年4月末日現在のものであり、今後、変更となる場合があります。

(参考情報)

ファンドの年間騰落率及び
分配金再投資基準価額の推移

2015年5月末～2020年4月末



■ 当ファンドの年間騰落率(右軸) — 分配金再投資基準価額(左軸)

*ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

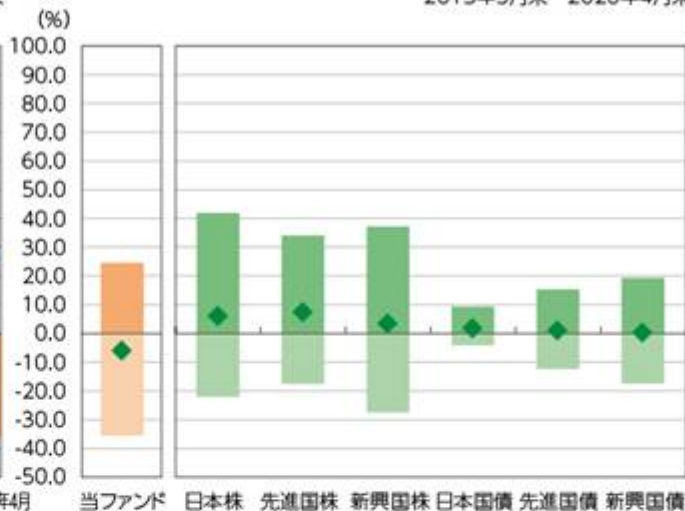
*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なる場合があります。

*年間騰落率は、2015年5月から2020年4月までの各月末における直近1年間の騰落率を表示したものです。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

グラフは、ファンドと代表的な資産のリスクを定量的に比較できるように作成したものです。

2015年5月末～2020年4月末



■ 最大値 ■ 最小値 ◆ 平均値 ■ 最大値 ■ 最小値

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	△5.9	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4
最大値	24.6	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△35.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2015年5月から2020年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

*決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数(TOPIX)

先進国株…MSCI コクサイ・インデックス(除く日本)(円ベース)

新興国株…MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円ベース)

日本国債…NOMURA・ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本)(円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

「東証株価指数(TOPIX)」は、東京証券取引所の知的財産で、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

「MSCI コクサイ・インデックス(除く日本)」は、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

「NOMURA・ボンド・パフォーマンス・インデックス国債」は、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しております。また、野村證券株式会社は、ファンドの運用成果に関して一切の責任を負うものではありません。

「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。なお、FTSE世界国債インデックスはFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド」とは、新興国の現地通貨建債券市場の動向を測るためにJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが開発した、時価総額ベースの債券インデックスです。同指数に関する商標・著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

<訂正後>

（略）

（３）リスク管理体制

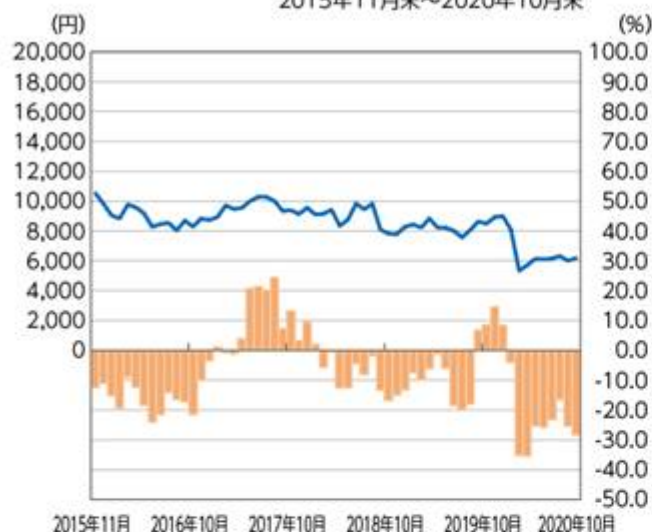
（略）

（注）投資リスクに対する管理体制は2020年10月末日現在のものであり、今後、変更となる場合があります。

(参考情報)

ファンドの年間騰落率及び
分配金再投資基準価額の推移

2015年11月末～2020年10月末



2015年11月 2016年10月 2017年10月 2018年10月 2019年10月 2020年10月

■ 当ファンドの年間騰落率(右軸) — 分配金再投資基準価額(左軸)

*ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なる場合があります。

*年間騰落率は、2015年11月から2020年10月までの各月末における直近1年間の騰落率を表示したものです。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

グラフは、ファンドと代表的な資産のリスクを定量的に比較できるように作成したものです。

2015年11月末～2020年10月末



当ファンド 日本株 先進国株 新興国株 日本国債 先進国国債 新興国債

■ 最大値 ■ 最小値 ◆ 平均値 ■ 最大値 ■ 最小値

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国債
平均値	△7.9	3.8	6.5	3.7	1.5	0.7	0.5
最大値	24.6	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△35.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2015年11月から2020年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

*決算日に対応した数値とは異なります。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数(TOPIX)

先進国株…MSCI コクサイ・インデックス(除く日本)(円ベース)

新興国株…MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円ベース)

日本国債…NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本)(円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

「東証株価指数(TOPIX)」は、東京証券取引所の知的財産で、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

「MSCI コクサイ・インデックス(除く日本)」は、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

「NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債」は、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表わす投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しております。また、野村證券株式会社は、ファンドの運用成果に関して一切の責任を負うものではありません。

「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。なお、FTSE世界国債インデックスはFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド」とは、新興国の現地通貨建債券市場の動向を測るためにJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが開発した、時価総額ベースの債券インデックスです。同指数に関する商標・著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

5【運用状況】

原届出書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」を以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

(1)【投資状況】

「メキシコ株式ファンド」

(令和2年10月30日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	メキシコ	461,484,156	95.21
現金・預金・その他資産 (負債控除後)	-	23,216,796	4.78
合計(純資産総額)		484,700,952	100.00

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

「メキシコ株式ファンド」

a 投資有価証券明細

(令和2年10月30日現在)

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
メキシコ	株式	AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	電気通信サービス	1,000,000	69.62	69,629,000	63.11	63,112,000	13.02
メキシコ	株式	WALMART DE MEXICO SAB DE CV	食品・生活必需品 小売り	200,000	249.26	49,852,600	252.64	50,528,800	10.42
メキシコ	株式	GRUPO FINANCIERO BANORTE-O	銀行	100,000	380.04	38,004,400	437.76	43,776,600	9.03
メキシコ	株式	FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD	食品・飲料・タバコ	70,000	583.05	40,813,570	566.63	39,664,520	8.18
メキシコ	株式	GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B	素材	120,000	287.58	34,509,720	296.89	35,626,920	7.35
メキシコ	株式	CEMEX SAB-CPO	素材	500,000	40.67	20,335,000	41.35	20,678,000	4.27
メキシコ	株式	GRUPO BIMBO SAB- SERIES A	食品・飲料・タバコ	100,000	196.49	19,649,000	199.18	19,918,500	4.11
メキシコ	株式	ORBIA ADVANCE CORP SAB DE CV	素材	100,000	180.43	18,043,321	178.89	17,889,900	3.69
メキシコ	株式	GRUMA S.A.B.-B	食品・飲料・タバコ	15,000	1,202.06	18,031,020	1,130.62	16,959,390	3.50
メキシコ	株式	MACQUARIE MEXICO REAL ESTATE	不動産	120,000	118.40	14,208,285	123.33	14,799,960	3.05
メキシコ	株式	MEGACABLE HOLDINGS-CPO	メディア・娯楽	40,000	323.20	12,928,160	330.84	13,233,920	2.73
メキシコ	株式	INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N OVA S.A.B	公益事業	30,000	302.62	9,078,720	355.39	10,661,910	2.20
メキシコ	株式	INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	食品・飲料・タバコ	30,000	342.16	10,265,010	327.90	9,837,240	2.03
メキシコ	株式	GRUPO AEROPORTUARIO DE SUR-B	運輸	8,000	1,198.02	9,584,210	1,186.29	9,490,320	1.96
メキシコ	株式	ARCA CONTINENTAL SAB DE CV	食品・飲料・タバコ	20,000	474.27	9,485,420	445.99	8,919,960	1.84
メキシコ	株式	GRUPO AEROPORTUARIO DEL-B SH	運輸	10,000	785.02	7,850,290	847.65	8,476,510	1.75
メキシコ	株式	QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	保険	20,000	414.24	8,284,920	415.91	8,318,240	1.72

メキシコ	株式	KIMBERLY-CLARK DE MEXICO-A	家庭用品・パーソナル用品	50,000	170.96	8,548,050	159.05	7,952,700	1.64
メキシコ	株式	CONTROLADORA VUELA CIA DE-A	運輸	100,000	83.39	8,339,800	79.33	7,933,100	1.64
メキシコ	株式	ALSEA SAB DE CV	消費者サービス	80,000	103.24	8,259,440	96.23	7,698,880	1.59
メキシコ	株式	ALPEK SA DE CV	素材	100,000	77.42	7,742,000	76.97	7,697,900	1.59
メキシコ	株式	PLA ADMINISTRADORA INDUSTRIAL	不動産	50,000	134.75	6,737,500	139.25	6,962,900	1.44
メキシコ	株式	PROMOTORA Y OPERADORA DE INF	資本財	10,000	805.16	8,051,680	687.76	6,877,640	1.42
メキシコ	株式	PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA	不動産	30,000	213.59	6,407,730	211.43	6,343,050	1.31
メキシコ	株式	FIBRA UNO ADMINISTRACION SA	不動産	80,000	81.68	6,534,640	79.03	6,322,960	1.30
メキシコ	株式	GMEXICO TRANSPORTES SAB DE C	運輸	50,000	140.63	7,031,500	124.65	6,232,800	1.29
メキシコ	株式	GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	運輸	12,000	491.53	5,898,461	464.12	5,569,536	1.15

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率をいいます。

b 種類別及び業種別投資比率

(令和2年10月30日現在)

種類	業種	投資比率(%)
株式(外国)	素材	16.90
	資本財	1.42
	運輸	7.78
	消費者サービス	1.59
	メディア・娯楽	2.73
	食品・生活必需品小売り	10.42
	食品・飲料・タバコ	19.66
	家庭用品・パーソナル用品	1.64
	銀行	9.03
	保険	1.72
	不動産	7.10
	電気通信サービス	13.02
	公益事業	2.20
合計		95.21

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類の評価金額の比率をいいます。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

令和2年10月30日および同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間末 または各月末	純資産総額 (円) (分配落)	純資産総額 (円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1期 (平成25年 9月17日)	1,417,000,257	1,417,000,257	0.9716	0.9716
第2期 (平成26年 3月17日)	1,332,564,452	1,332,564,452	0.9483	0.9483
第3期 (平成26年 9月16日)	1,430,916,125	1,565,842,775	1.0605	1.1605
第4期 (平成27年 3月16日)	1,321,475,147	1,321,475,147	0.9722	0.9722
第5期 (平成27年 9月15日)	1,525,871,259	1,525,871,259	0.9136	0.9136
第6期 (平成28年 3月15日)	1,350,997,975	1,350,997,975	0.8481	0.8481
第7期 (平成28年 9月15日)	1,052,296,342	1,052,296,342	0.7283	0.7283
第8期 (平成29年 3月15日)	1,185,494,597	1,185,494,597	0.8413	0.8413
第9期 (平成29年 9月15日)	1,252,099,719	1,252,099,719	0.9223	0.9223
第10期 (平成30年 3月15日)	1,071,821,315	1,071,821,315	0.8409	0.8409
第11期 (平成30年 9月18日)	1,086,920,124	1,086,920,124	0.8751	0.8751
第12期 (平成31年 3月15日)	821,766,686	821,766,686	0.7456	0.7456
第13期 (令和1年 9月17日)	774,123,665	774,123,665	0.7470	0.7470
第14期 (令和2年 3月16日)	539,713,559	539,713,559	0.5921	0.5921
第15期 (令和2年 9月15日)	511,256,510	511,256,510	0.5816	0.5816
令和1年 10月末日	799,743,779	-	0.7887	-
令和1年 11月末日	762,046,553	-	0.7753	-
令和1年 12月末日	775,737,755	-	0.8154	-
令和2年 1月末日	760,025,934	-	0.8219	-
令和2年 2月末日	672,007,837	-	0.7392	-
令和2年 3月末日	442,327,929	-	0.4884	-
令和2年 4月末日	465,626,790	-	0.5211	-
令和2年 5月末日	500,435,432	-	0.5610	-
令和2年 6月末日	496,402,451	-	0.5582	-
令和2年 7月末日	497,491,648	-	0.5615	-
令和2年 8月末日	508,003,554	-	0.5778	-
令和2年 9月末日	477,389,078	-	0.5489	-
令和2年 10月末日	484,700,952	-	0.5650	-

【分配の推移】

計算期間	1口当たりの分配金(円)
第1期 (平成25年3月26日～平成25年9月17日)	0.0000
第2期 (平成25年9月18日～平成26年3月17日)	0.0000
第3期 (平成26年3月18日～平成26年9月16日)	0.1000
第4期 (平成26年9月17日～平成27年3月16日)	0.0000
第5期 (平成27年3月17日～平成27年9月15日)	0.0000
第6期 (平成27年9月16日～平成28年3月15日)	0.0000
第7期 (平成28年3月16日～平成28年9月15日)	0.0000
第8期 (平成28年9月16日～平成29年3月15日)	0.0000
第9期 (平成29年3月16日～平成29年9月15日)	0.0000
第10期 (平成29年9月16日～平成30年3月15日)	0.0000
第11期 (平成30年3月16日～平成30年9月18日)	0.0000
第12期 (平成30年9月19日～平成31年3月15日)	0.0000
第13期 (平成31年3月16日～令和1年9月17日)	0.0000
第14期 (令和1年9月18日～令和2年3月16日)	0.0000
第15期 (令和2年3月17日～令和2年9月15日)	0.0000

【収益率の推移】

計算期間	収益率(%)
第1期 (平成25年3月26日～平成25年9月17日)	2.8
第2期 (平成25年9月18日～平成26年3月17日)	2.4
第3期 (平成26年3月18日～平成26年9月16日)	22.4
第4期 (平成26年9月17日～平成27年3月16日)	8.3
第5期 (平成27年3月17日～平成27年9月15日)	6.0
第6期 (平成27年9月16日～平成28年3月15日)	7.2
第7期 (平成28年3月16日～平成28年9月15日)	14.1

第8期 (平成28年9月16日～平成29年3月15日)	15.5
第9期 (平成29年3月16日～平成29年9月15日)	9.6
第10期 (平成29年9月16日～平成30年3月15日)	8.8
第11期 (平成30年3月16日～平成30年9月18日)	4.1
第12期 (平成30年9月19日～平成31年3月15日)	14.8
第13期 (平成31年3月16日～令和1年9月17日)	0.2
第14期 (令和1年9月18日～令和2年3月16日)	20.7
第15期 (令和2年3月17日～令和2年9月15日)	1.8

(注)「収益率」とは、各計算期間ごとに計算期末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期末の基準価額(分配落の額。以下「前期末基準価額」)を控除した額を前期末基準価額で除して得た額に100を乗じて得た比率をいいます。

収益率は、小数第2位を四捨五入しております。

(4)【設定及び解約の実績】

下記計算期間中の設定および解約の実績は次の通りです。

計算期間	設定口数(口)	解約口数(口)	発行済口数(口)
第1期 (平成25年3月26日～平成25年9月17日)	1,484,425,528	25,937,303	1,458,488,225
第2期 (平成25年9月18日～平成26年3月17日)	20,355,957	73,635,054	1,405,209,128
第3期 (平成26年3月18日～平成26年9月16日)	9,059,773	65,002,397	1,349,266,504
第4期 (平成26年9月17日～平成27年3月16日)	32,142,711	22,166,883	1,359,242,332
第5期 (平成27年3月17日～平成27年9月15日)	368,442,704	57,452,611	1,670,232,425
第6期 (平成27年9月16日～平成28年3月15日)	1,030,797	78,250,367	1,593,012,855
第7期 (平成28年3月16日～平成28年9月15日)	1,650,442	149,773,309	1,444,889,988
第8期 (平成28年9月16日～平成29年3月15日)	31,779,805	67,474,188	1,409,195,605

第9期 (平成29年3月16日～ 平成29年9月15日)	5,921,301	57,538,297	1,357,578,609
第10期 (平成29年9月16日～ 平成30年3月15日)	9,402,022	92,350,574	1,274,630,057
第11期 (平成30年3月16日～ 平成30年9月18日)	4,706,787	37,315,904	1,242,020,940
第12期 (平成30年9月19日～ 平成31年3月15日)	11,917,062	151,815,433	1,102,122,569
第13期 (平成31年3月16日～ 令和1年9月17日)	2,079,631	67,885,039	1,036,317,161
第14期 (令和1年9月18日～ 令和2年3月16日)	6,556,065	131,333,713	911,539,513
第15期 (令和2年3月17日～ 令和2年9月15日)	18,841,419	51,368,897	879,012,035

(注) 設定口数には当初募集期間中の設定口数を含みます。

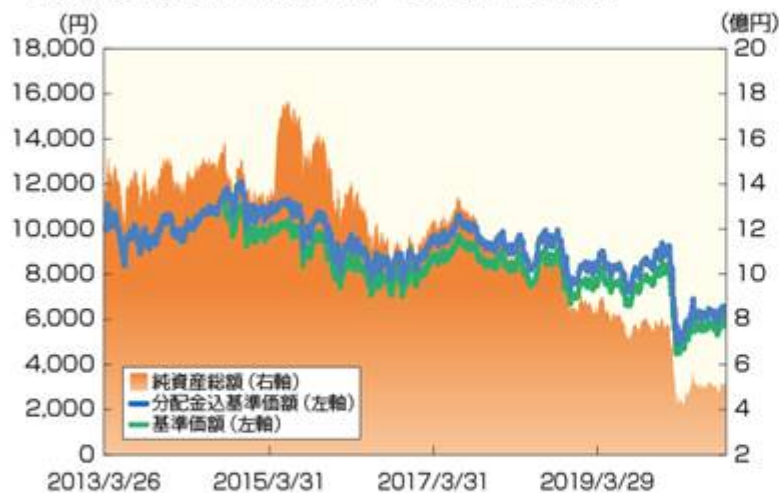
(参考情報)

(2020年10月30日現在)

基準価額・純資産の推移、分配の推移

● 基準価額・純資産総額の推移

当初設定日(2013年3月26日)～2020年10月30日



● 基準価額と純資産総額

基準価額(1万口当たり)	5,650円
純資産総額	484百万円

● 分配の推移(1万口当たり、税引前)

2020年9月	0円
2020年3月	0円
2019年9月	0円
2019年3月	0円
2018年9月	0円
設定来累計	1,000円

主要な資産の状況

● 資産配分

資産の種類	組入比率
株式	95.21%
債券	0.00%
現金・その他	4.79%
合計	100.00%

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	組入比率
1	AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	電気通信サービス	13.02%
2	WALMART DE MEXICO SAB DE CV	食品・生活必需品小売	10.42%
3	GRUPO FINANCIERO BANORTE-O	銀行	9.03%
4	FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD	食品・飲料・タバコ	8.18%
5	GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B	素材	7.35%
6	CEMEX SAB-CPO	素材	4.27%
7	GRUPO BIMBO SAB- SERIES A	食品・飲料・タバコ	4.11%
8	ORBIA ADVANCE CORP SAB DE CV	素材	3.69%
9	GRUMA S.A.B.-B	食品・飲料・タバコ	3.50%
10	MACQUARIE MEXICO REAL ESTATE	不動産	3.05%

● 組入上位10業種

	業種	組入比率
1	食品・飲料・タバコ	19.66%
2	素材	16.90%
3	電気通信サービス	13.02%
4	食品・生活必需品小売	10.42%
5	銀行	9.03%
6	運輸	7.78%
7	不動産	7.10%
8	メディア・娯楽	2.73%
9	公益事業	2.20%
10	保険	1.72%

年間収益率の推移(暦年ベース)



※年間収益率は基準価額(税引前分配金再投資ベース)をもとに算出した騰落率です。

※2013年は設定日(2013年3月26日)から年末までの収益率、2020年は1月1日から10月30日までの収益率を表示しています。

※当ファンドにベンチマークはありません。

※上記の運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を予想あるいは保証するものではありません。
※最新の運用状況については別途開示しており、表紙に記載の委託会社ホームページにおいて閲覧することができます。

第3【ファンドの経理状況】

原届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」を以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドの計算期間は6か月であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。ただし、当ファンドの第15期計算期間は、令和2年3月17日から令和2年9月15日までといたします。
3. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第15期計算期間（令和2年3月17日から令和2年9月15日まで）の財務諸表について、UHY東京監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】
【メキシコ株式ファンド】
(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第14期 (令和2年3月16日現在)	第15期 (令和2年9月15日現在)
資産の部		
流動資産		
預金	16,119,646	3,869,150
金銭信託	15,770,453	23,614,074
株式	515,277,091	489,593,031
流動資産合計	547,167,190	517,076,255
資産合計	547,167,190	517,076,255
負債の部		
流動負債		
未払解約金	1,277	570,070
未払受託者報酬	267,496	173,388
未払委託者報酬	5,967,298	3,867,837
その他未払費用	1,217,560	1,208,450
流動負債合計	7,453,631	5,819,745
負債合計	7,453,631	5,819,745
純資産の部		
元本等		
元本	911,539,513	879,012,035
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	371,825,954	367,755,525
(分配準備積立金)	73,645,340	69,605,638
元本等合計	539,713,559	511,256,510
純資産合計	539,713,559	511,256,510
負債純資産合計	547,167,190	517,076,255

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第14期	第15期
	自 令和1年9月18日 至 令和2年3月16日	自 令和2年3月17日 至 令和2年9月15日
営業収益		
受取配当金	6,564,633	5,487,569
受取利息	1,793	79
有価証券売買等損益	55,336,017	20,228,629
為替差損益	77,593,888	9,500,925
営業収益合計	126,363,479	5,240,056
営業費用		
受託者報酬	267,496	173,388
委託者報酬	5,967,298	3,867,837
その他費用	1,860,627	1,746,312
営業費用合計	8,095,421	5,787,537
営業利益又は営業損失()	134,458,900	11,027,593
経常利益又は経常損失()	134,458,900	11,027,593
当期純利益又は当期純損失()	134,458,900	11,027,593
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額 又は一部解約に伴う当期純損失金額の分 配額()	6,766,917	2,719,949
期首剰余金又は期首欠損金()	262,193,496	371,825,954
剰余金増加額又は欠損金減少額	33,401,399	21,058,427
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額	33,401,399	21,058,427
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,808,040	8,680,354
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額	1,808,040	8,680,354
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金()	371,825,954	367,755,525

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準および評価方法	(1) 株式 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場（計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 外国為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
2. 収益および費用の計上基準	(1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金又は予想配当金額を計上しております。 (2) 配当株式の計上基準 配当株式は原則として、配当株式に伴う源泉税等の費用が確定した段階で、株式の配当落ち日に計上した数量に相当する券面額を計上しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる事項	外貨建取引等の処理基準 (1) 「投信信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条並びに第61条に基づいて処理しております。 (2) 当ファンドの計算期間は、令和2年3月17日から令和2年9月15日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第14期 令和2年3月16日現在	第15期 令和2年9月15日現在
1. 期首元本額	1,036,317,161円	911,539,513円
期中追加設定元本額	6,556,065円	18,841,419円
期中一部解約元本額	131,333,713円	51,368,897円
2. 元本の欠損	371,825,954円	367,755,525円
3. 計算期間末日における受益権の総数	911,539,513口	879,012,035口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

	第14期 自 令和1年9月18日 至 令和2年3月16日	第15期 自 令和2年3月17日 至 令和2年9月15日
1. その他費用の内訳		
信託事務費用	1,860,627 円	1,746,312 円
2. 分配金の計算過程		
費用控除後の配当等収益額	A - 円	A - 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B - 円	B - 円
収益調整金額	C 16,480,646 円	C 17,383,454 円
分配準備積立金額	D 73,645,340 円	D 69,605,638 円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D 90,125,986 円	E=A+B+C+D 86,989,092 円
当ファンドの期末残存口数	F 911,539,513 口	F 879,012,035 口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000 988 円	G=E/F*10,000 989 円
10,000口当たり分配金額	H - 円	H - 円
収益分配金金額	I=F*H/10,000 - 円	I=F*H/10,000 - 円

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

項目	第14期	第15期
	自 令和1年9月18日 至 令和2年3月16日	自 令和2年3月17日 至 令和2年9月15日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を投資信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「運用資産の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じて市場リスク、価格変動リスクや為替変動リスク等があります。	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	コンプライアンス部では、運用状況のモニタリング、運用に関する法令諸規則の遵守状況の確認を行っております。また、管理部では、運用に関するリスク管理を行っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第14期	第15期
	(令和2年3月16日現在)	(令和2年9月15日現在)
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	有価証券（株式） 「注記表（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」の「運用資産の評価基準及び評価方法」に記載しております。 デリバティブ取引 該当事項はありません。 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。	有価証券（株式） 同左 デリバティブ取引 同左 上記以外の金融商品 同左
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価格のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券の最終計算期間の損益に含まれた評価差額

第14期(自 2019年9月18日 至 2020年3月16日)

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	57,696,805
合計	57,696,805

第15期(自 2020年3月17日 至 2020年9月15日)

(単位:円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	22,325,085
合計	22,325,085

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第14期 (令和2年3月16日現在)	第15期 (令和2年9月15日現在)
1口当たり純資産額	0.5921円	0.5816円
(10,000口当たり純資産額)	(5,921円)	(5,816円)

(4)【附属明細表】

有価証券明細表（令和2年9月15日現在）

(ア)株式

次表の通りです。

種類	通貨	銘柄名	株数	評価額		備考
				単価	金額	
株式	メキシコペソ	ALPEK SA DE CV	100,000	15.80	1,580,000.00	
		CEMEX SAB-CPO	500,000	8.30	4,150,000.00	
		GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B	120,000	58.69	7,042,800.00	
		ORBIA ADVANCE CORP SAB DE CV	80,000	36.77	2,941,600.00	
		PROMOTORA Y OPERADORA DE INF	10,000	164.32	1,643,200.00	
		CONTROLADORA VUELA CIA DE-A	100,000	17.02	1,702,000.00	
		GMEXICO TRANSPORTES SAB DE C	50,000	28.70	1,435,000.00	
		GRUPO AEROPORTUARIO DE SUR-B	5,000	245.38	1,226,900.00	
		GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	10,000	100.41	1,004,100.00	
		GRUPO AEROPORTUARIO DEL-B SH	10,000	160.21	1,602,100.00	
		ALSEA SAB DE CV	80,000	21.07	1,685,600.00	
		MEGACABLE HOLDINGS-CPO	40,000	65.96	2,638,400.00	
		WALMART DE MEXICO SAB DE CV	200,000	50.87	10,174,000.00	
		ARCA CONTINENTAL SAB DE CV	20,000	96.79	1,935,800.00	
		COCA-COLA FEMSA SAB DE CV	12,000	86.63	1,039,560.00	
		FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD	70,000	118.99	8,329,300.00	
		GRUMA S.A.B.-B	15,000	245.32	3,679,800.00	
		GRUPO BIMBO SAB- SERIES A	100,000	40.10	4,010,000.00	
		INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	30,000	69.83	2,094,900.00	
		KIMBERLY-CLARK DE MEXICO-A	50,000	34.89	1,744,500.00	
		BANCO DEL BAJIO SA	50,000	15.44	772,000.00	
		GRUPO FINANCIERO BANORTE-O	100,000	77.56	7,756,000.00	
		REGIONAL SAB DE CV	30,000	50.51	1,515,300.00	
		ENTERA SAB DE CV	200,000	6.54	1,308,000.00	
		QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	20,000	84.54	1,690,800.00	
		FIBRA UNO ADMINISTRACION SA	80,000	16.67	1,333,600.00	
		MACQUARIE MEXICO REAL ESTATE	120,000	24.52	2,942,400.00	
		PLA ADMINISTRADORA INDUSTRIAL	50,000	27.50	1,375,000.00	
		PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA	30,000	43.59	1,307,700.00	
		AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	1,000,000	14.21	14,210,000.00	
		INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N OVA S.A.B	30,000	61.76	1,852,800.00	
	計	銘柄数：31	3,312,000		97,723,160.00 (489,593,031)	
		組入時価比率：95.8%			100.0%	
	合計		3,312,000		489,593,031 (489,593,031)	

(注) 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、および各小計欄の合計金額に対する比率であります。

外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
メキシコペソ	株式31銘柄	95.8%	100.0%

(注) 組入株式時価比率とは、純資産額に対する比率であります。

(イ) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

有価証券先物取引等及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

「メキシコ株式ファンド」

(2020年10月30日現在)

資産総額	486,044,371円
負債総額	1,343,419円
純資産総額(-)	484,700,952円
発行済数量	857,936,810口
1口当たり純資産額(/)	0.5650円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

(1) 資本金等（2020年10月末日現在）

資本金の額

1億6,240万円

会社が発行する株式総数（発行可能株式総数）

1,000株

発行済株式総数

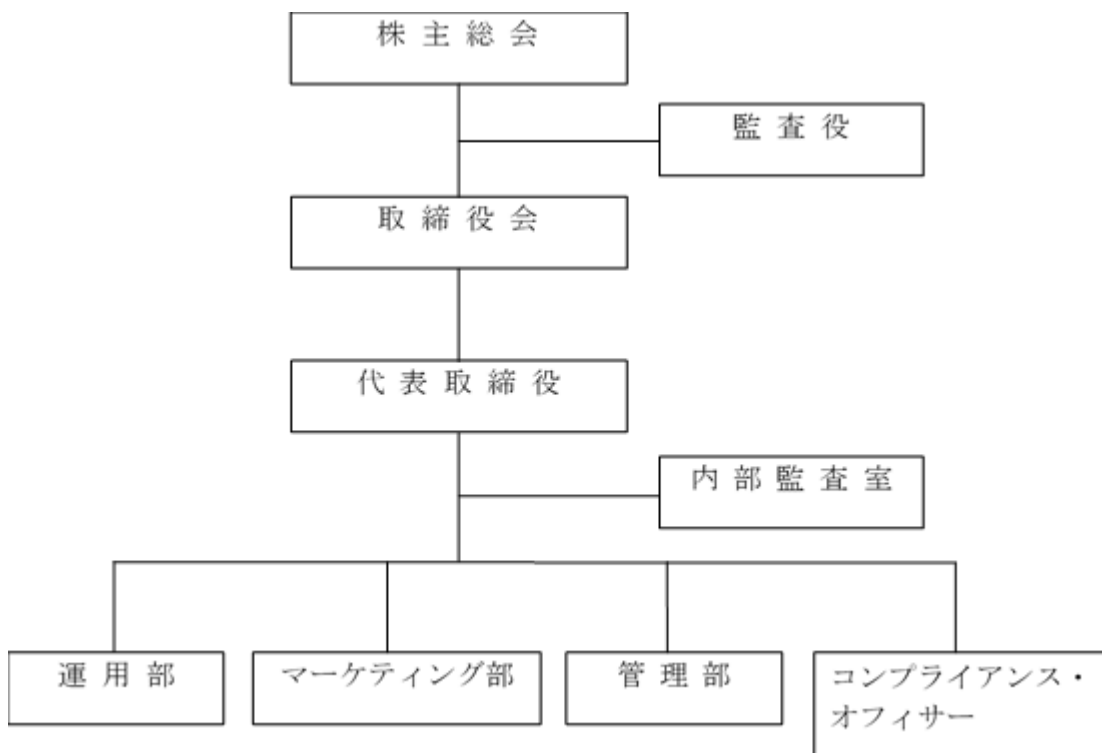
790株（普通株式）

過去5年間における資本金の増減

該当事項はありません。

(2) 委託会社の機構

会社の組織図

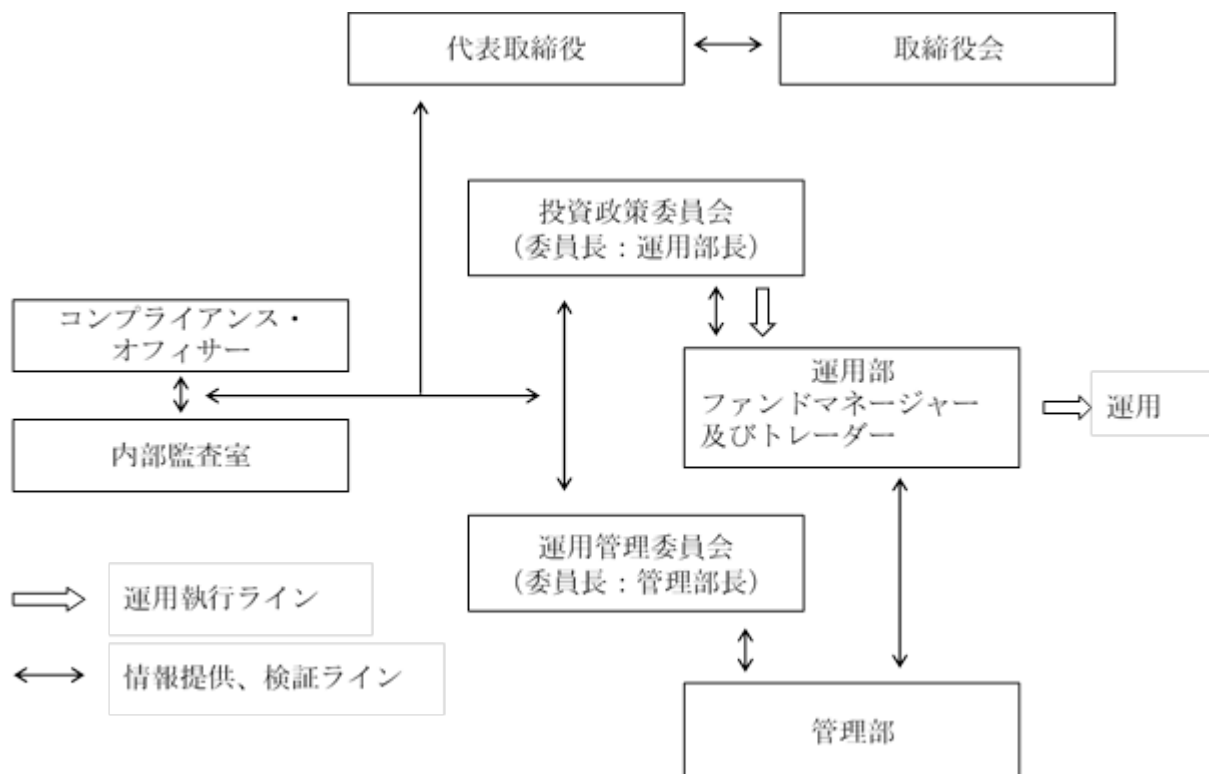


(注) 上記組織は、2020年10月末日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。

会社の意思決定機構

委託会社の取締役は3名以上、監査役は1名以上とし、株主総会で選任されます。取締役及び監査役の選任は議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行い、累積投票によりません。取締役の任期は、選任後1年以内、監査役の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度うち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとし、任期満了前に退任した取締役または監査役の補欠として選任された取締役または監査役の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とします。委託会社の業務の重要な事項は、取締役会の決議により決定します。取締役会は、その決議によって代表取締役を選定し、必要に応じて専務取締役、常務取締役長各若干名を選定することができます。代表取締役社長は、当会社を代表し、会社の業務を統括します。

投資信託の運用の流れ



（注）上記組織は、2020年10月末日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社で、証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者（投資運用業）で、投資信託委託業務（投資信託の運用、管理）を行っております。

2020年10月末日現在、委託会社の運用する証券投資信託は、以下の通りです。

種類			本数	純資産総額
公募	追加型	株式投資信託	27本	45,139百万円
合計			27本	45,139百万円

（親投資信託を除く）

3【委託会社等の経理状況】

以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

- (1) 当社の財務諸表は、改正後の「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
- (2) 財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
- (3) 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第9期事業年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の財務諸表について、UHY東京監査法人により監査を受けております。

財務諸表等

1 財務諸表

(1) 【貸借対照表】

区分	注記 番号	第8期 (平成31年3月31日現在)		第9期 (令和2年3月31日現在)	
		金額(千円)		金額(千円)	
(資産の部)					
流動資産					
1			657,916		634,461
2			-		4,565
3			109		1,464
4			89,821		76,795
5			22,944		24,680
6			218		140
			771,011		742,105
流動資産合計					
固定資産					
1	1		1,299		4,345
(1)		1,299		4,345	
2			443		1,815
(1)		443		1,815	
3			3,695		3,431
(1)		3,595		3,328	
(2)		100		103	
			5,437		9,592
固定資産合計					
繰延資産					
1	2		250		50
			250		50
繰延資産合計					
資産合計					
			776,698		751,748

区分	注記 番号	第8期 (平成31年3月31日現在)		第9期 (令和2年3月31日現在)	
		金額(千円)		金額(千円)	
(負債の部)					
流動負債					
1 未払金			100,289		89,342
(1) 未払手数料	3	55,807		44,200	
(2) その他未払金		44,481		45,142	
2 未払法人税等			14,487		5,717
3 未払消費税等			3,300		2,250
4 賞与引当金			5,800		5,700
流動負債合計			123,876		103,011
固定負債					
1 退職給付引当金			-		-
固定負債合計			-		-
負債合計			123,876		103,011
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金			162,400		162,400
2 資本剰余金			162,400		162,400
(1) 資本準備金		162,400		162,400	
3 利益剰余金			328,022		323,937
(1) その他利益剰余金					
繰越利益剰余金		328,022		323,937	
株主資本合計			652,822		648,737
純資産合計			652,822		648,737
負債及び純資産合計			776,698		751,748

(2) 【損益計算書】

区分	注記 番号	第8期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)		第9期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
営業収益					
1 委託者報酬			919,564		772,130
2 投資助言報酬			2,960		2,452
営業収益合計			922,524		774,582
営業費用					
1 支払手数料	1		595,543		496,590
2 委託計算費			33,831		33,475
3 広告宣伝費			1,966		1,851
4 調査費			7,530		7,559
5 営業雑経費			13,257		15,121
(1) 通信費		1,379		2,190	
(2) 協会費		1,520		1,549	
(3) 印刷費		10,357		11,381	
営業費用合計			652,129		554,599
一般管理費					
1 給料			102,168		105,242
(1) 役員報酬		12,001		12,000	
(2) 給料・手当		70,501		73,134	
(3) 賞与		6,169		6,234	
(4) 法定福利費		13,496		13,873	
2 旅費交通費			3,294		4,485
3 不動産賃借料			2,894		7,374
4 業務委託費			2,300		3,496
5 賞与引当金繰入			5,800		5,700
6 退職給付引当金繰入			2,015		2,351
7 租税公課			4,314		3,869
8 減価償却費	2		1,146		1,957
9 その他一般管理費			11,296		8,973
一般管理費合計			135,230		143,450
営業利益			135,165		76,532

区分	注記 番号	第8期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)		第9期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
営業外収益	3				
1 受取利息			0		0
2 雑収入			-		21
3 賞与引当金戻入			-		101
営業外収益合計			0		123
営業外費用					
1 繰延資産償却			200		200
営業外費用合計			200		200
経常利益			134,965		76,456
税引前当期純利益			134,965		76,456
法人税、住民税及び事業税			41,661		24,975
法人税等調整額		1,136		266	
当期純利益		92,168		51,214	

(3) 【株主資本等変動計算書】

	第 8 期 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成31年 3 月31日)	第 9 期 (自 平成31年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月31日)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)
株主資本		
資本金		
当期首残高	162,400	162,400
当事業年度中の変動額		
当事業年度中の変動額合計	-	-
当期末残高	162,400	162,400
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	162,400	162,400
当事業年度中の変動額		
当事業年度中の変動額合計	-	-
当期末残高	162,400	162,400
資本剰余金合計		
当期首残高	162,400	162,400
当事業年度中の変動額		
当事業年度中の変動額合計	-	-
当期末残高	162,400	162,400
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	284,043	328,022
当事業年度中の変動額		
当期純利益	92,168	51,214
剰余金の配当	48,190	55,300
当事業年度中の変動額合計	43,978	4,085
当期末残高	328,022	323,937

区分	第 8 期 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成31年 3 月31日)	第 9 期 (自 平成31年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月31日)
	金額 (千円)	金額 (千円)
利益剰余金合計		
当期首残高	284,043	328,022
当事業年度中の変動額		
当期純利益	92,168	51,214
剰余金の配当	48,190	55,300
当事業年度中の変動額合計	43,978	4,085
当期末残高	328,022	323,937
株主資本合計		
当期首残高	608,843	652,822
当事業年度中の変動額		
当期純利益	92,168	51,214
剰余金の配当	48,190	55,300
当事業年度中の変動額合計	43,978	4,085
当期末残高	652,822	648,737
純資産合計		
当期首残高	608,843	652,822
当事業年度中の変動額		
当期純利益	92,168	51,214
剰余金の配当	48,190	55,300
当事業年度中の変動額合計	43,978	4,085
当期末残高	652,822	648,737

重要な会計方針

1 繰延資産の償却方法	(1) 入会金 繰延資産として計上した一般社団法人日本投資顧問業協会への入会金は、資産として繰延べ、5年均等償却しております。
2 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下の通りであります。 器具備品 3年~20年 (2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。
3 引当金の計上基準	(1) 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。 (2) 退職給付引当金(前払年金費用) 従業員の退職給付に備えるため、事業年度末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。
4 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

注記事項

（貸借対照表関係）

第 8 期 (平成31年 3月31日現在)	第 9 期 (令和 2年 3月31日現在)
<p>1. 固定資産の減価償却累計額は次の通りであります。</p> <p>有形固定資産の減価償却累計額</p> <p> 器具備品 5,016千円</p> <p>無形固定資産の減価償却累計額</p> <p> ソフトウェア 4,238千円</p> <p>2. 繰延資産の償却累計額は次の通りであります。</p> <p>繰延資産償却累計額 6,306千円</p> <p> 創立費償却累計額 556千円</p> <p> 入会金償却累計額 5,750千円</p> <p>3. 関係会社に対する負債は次の通りであります。</p> <p>（流動負債）</p> <p> 未払手数料 52,503千円</p>	<p>1. 固定資産の減価償却累計額は次の通りであります。</p> <p>有形固定資産の減価償却累計額</p> <p> 器具備品 4,818千円</p> <p>無形固定資産の減価償却累計額</p> <p> ソフトウェア 2,229千円</p> <p>2. 繰延資産の償却累計額は次の通りであります。</p> <p>繰延資産償却累計額 6,506千円</p> <p> 創立費償却累計額 556千円</p> <p> 入会金償却累計額 5,950千円</p> <p>3. 関係会社に対する負債は次の通りであります。</p> <p>（流動負債）</p> <p> 未払手数料 40,693千円</p>

（損益計算書関係）

第 8 期 (自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日)	第 9 期 (自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日)
<p>1. 関係会社との取引に係るものが次の通り含まれております。</p> <p> 支払手数料 544,710千円</p> <p>2. 減価償却費の内容は次の通りであります。</p> <p>減価償却費額 1,146千円</p> <p> 有形固定資産減価償却費額 766千円</p> <p> 無形固定資産減価償却費額 380千円</p> <p>3. 繰延資産償却の内容は次の通りであります。</p> <p>繰延資産償却額 200千円</p> <p> 入会金償却額 200千円</p>	<p>1. 関係会社との取引に係るものが次の通り含まれております。</p> <p> 支払手数料 491,718千円</p> <p>2. 減価償却費の内容は次の通りであります。</p> <p>減価償却費額 1,957千円</p> <p> 有形固定資産減価償却費額 1,183千円</p> <p> 無形固定資産減価償却費額 773千円</p> <p>3. 繰延資産償却の内容は次の通りであります。</p> <p>繰延資産償却額 200千円</p> <p> 入会金償却額 200千円</p>

（株主資本等変動計算書関係）

第8期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

1．発行済株式の種類及び総数に関する事項

	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式 普通株式	790株	-	-	790株
合計	790株	-	-	790株

2．自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

3．配当に関する事項

（1）配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり配当額 （円）	基準日	効力発生日
平成30年6月20日 定時株主総会	普通株式	48,190	61,000	平成30年3月31日	平成30年6月21日

（2）基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	配当の原資	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日
令和元年6月19日 定時株主総会	普通株式	55,300	利益剰余金	70,000	平成31年3月31日	令和元年6月20日

第9期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

1．発行済株式の種類及び総数に関する事項

	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式 普通株式	790株	-	-	790株
合計	790株	-	-	790株

2．自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません。

3．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
令和元年6月19日 定時株主総会	普通株式	55,300	70,000	平成31年3月31日	令和元年6月20日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
令和2年6月15日 定時株主総会	普通株式	45,820	利益剰余金	58,000	令和2年3月31日	令和2年6月16日

(リース取引関係)

第8期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

ファイナンス・リース取引の内容は次の通りであります。

リース取引開始日が、平成20年4月1日以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引
ただし、一契約のリース料総額が300万円以下の取引であるため、従来通り「賃貸借処理」を行っております。

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末

残高相当額

(単位：千円)

	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
コピー複合機一式	804	388	415
合計	804	388	415

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1年内 171千円

1年超 289千円

合計 461千円

(3) 支払リース料、減価償却費相当額、支払利息相当額、リース資産除却損及びリース債務解約損

支払リース料 190千円

減価償却費相当額 160千円

支払利息相当額 27千円

(4) 減価償却費相当額の算定方法及び利息相当額の算定方法

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への分配方法については、利息法によっております。

第9期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

ファイナンス・リース取引の内容は次の通りであります。

リース取引開始日が、平成20年4月1日以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引
ただし、一契約のリース料総額が300万円以下の取引であるため、従来通り「賃貸借処理」を
行っております。

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末

残高相当額

(単位：千円)

	取得価額相当額	減価償却累計額 相当額	期末 残高相当額
コピー複合機一式	804	549	254
合計	804	549	254

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1年内 180千円

1年超 109千円

合計 289千円

(3) 支払リース料、減価償却費相当額、支払利息相当額、リース資産除却損及びリース債務解約損

支払リース料 190千円

減価償却費相当額 160千円

支払利息相当額 19千円

(4) 減価償却費相当額の算定方法及び利息相当額の算定方法

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への分配
方法については、利息法によっております。

（金融商品に関する注記）

1．金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に関する取組方針

当社は、経営方針に基づいて資金調達計画を決定いたしますが、当期会計期間においては新規の出資による資金調達は行っておりません。また、当期会計期間において銀行借入れによる調達も行っておりません。

（2）金融商品の内容及びそのリスク

当社の営業債権は、契約により決定された委託者報酬等の計上に限定されるため、信用リスクに晒されることはほとんどないと認識しております。

（3）金融商品にかかるリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行にかかるリスク）の管理

当社の営業債権は、契約により金額が決定されるため、滞留債権が発生することはほとんどなく、営業債権について信用リスクに晒されることはほとんどないと認識しております。

市場リスク（為替や金利などの変動リスク）の管理

当社は、投資信託財産の為替変動リスクの回避又は効率的運用を図るため、外国為替の売買予約を行うことができるものとし、その取扱いについては、投資信託約款及び社内規程において定めるところによるものといたします。

資金調達にかかる流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、銀行借入れによる資金調達を行っておらず、親会社からの出資に依存して資金調達を行います。資金管理責任者は、常に資金繰りの状況を把握し、資金の調達または運用に関する確な施策を講じるとともに、手元流動性の維持等により流動性リスクを管理しています。

（4）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

第8期（平成31年3月31日現在）

平成31年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	657,916	657,916	-
(2) 未収委託者報酬	89,821	89,821	-
(3) 未収投資助言報酬	218	218	-
(4) 未収入金	22,944	22,944	-
資産計	770,901	770,901	
(5) 未払金	(100,289)	(100,289)	-
未払手数料	(55,807)	(55,807)	-
その他未払金	(44,481)	(44,481)	-

(注) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに投資有価証券及びデリバティブに関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収投資助言報酬、(4) 未収入金

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっています。

負 債

(5) 未払金（未払手数料及びその他未払金）

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっています。

投資有価証券、デリバティブ取引

該当事項はありません。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

該当事項はありません。

第9期（令和2年3月31日現在）

令和2年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。
なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	634,461	634,461	-
(2) 未収委託者報酬	76,795	76,795	-
(3) 未収投資助言報酬	140	140	-
(4) 未収入金	24,680	24,680	-
資産計	736,078	736,078	
(5) 未払金	(89,342)	(89,342)	-
未払手数料	(44,200)	(44,200)	-
その他未払金	(45,142)	(45,142)	-

（注）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（注）1．金融商品の時価の算定方法並びに投資有価証券及びデリバティブに関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収投資助言報酬、(4) 未収入金

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっています。

負 債

(5) 未払金（未払手数料及びその他未払金）

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっています。

投資有価証券、デリバティブ取引

該当事項はありません。

2．時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

該当事項はありません。

（有価証券関係）

第8期（平成31年3月31日現在）

- 1．子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの
該当事項はありません。
- 2．その他有価証券で時価のあるもの
該当事項はありません。
- 3．時価評価されていない有価証券
該当事項はありません。

第9期（令和2年3月31日現在）

- 1．子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの
該当事項はありません。
- 2．その他有価証券で時価のあるもの
該当事項はありません。
- 3．時価評価されていない有価証券
該当事項はありません。

（税効果会計関係）

項目	第8期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第9期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
	単位：千円	単位：千円
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生主な原因別の内訳	繰延税金資産	繰延税金資産
	貯蔵品 579	貯蔵品 751
	賞与引当金 1,775	賞与引当金 1,745
	未払金 200	未払金 203
	未払事業税 1,013	未払事業税 610
	退職給付引当金 -	退職給付引当金 -
	一括償却資産 56	一括償却資産 48
	合計 3,625	合計 3,359
	評価性引当額 -	評価性引当額 -
	繰延税金資産合計 3,625	繰延税金資産合計 3,359
	繰延税金負債	繰延税金負債
	前払年金費用 30	前払年金費用 31
	合計 30	合計 31
繰延税金負債合計 30	繰延税金負債合計 31	
繰延税金資産の純額 3,595	繰延税金資産の純額 3,328	
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	法定実効税率 30.62%
		(調整)
		寄付金等永久に損金算入されない項目 0.91%
		役員賞与等永久に損金算入されない項目 1.2%
		住民税均等割額 0.35%
		その他 0.05%
		税効果会計適用後の法人税等の負担率 33.014%

（セグメント情報等）

セグメント情報

第8期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

第8期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

1．サービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が、損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

（1）営業収益

本邦以外の外部顧客からの営業収益がないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

投資信託の名称	営業収益	関連するサービスの種類
ニュージーランド株式ファンド	18,417	投資運用業
スイス株式ファンド	15,357	投資運用業
カレラ Jリートファンド	119,765	投資運用業
メキシコ株式ファンド	14,088	投資運用業
オランダ株式ファンド	30,536	投資運用業
カタール・アブダビ株式ファンド	7,734	投資運用業
ロシア株式ファンド	11,956	投資運用業
21世紀東京 日本株式ファンド	30,552	投資運用業
イタリア株式ファンド	18,230	投資運用業
フランス株式ファンド	21,539	投資運用業
3つの財布 欧州リートファンド	112,364	投資運用業
3つの財布 欧州銀行株式ファンド （毎月分配型）	147,869	投資運用業
スロベニア・クロアチア・ギリシャ株式ファンド	7,673	投資運用業
3つの財布 欧州不動産関連株ファンド （毎月分配型）	111,405	投資運用業
3つの財布 米国銀行株式ファンド （毎月分配型）	133,754	投資運用業
テキサス州株式ファンド	23,984	投資運用業

カレラワールド債券アクティブファンド	2,449	投資運用業
フィリピン株式ファンド	3,136	投資運用業
カレラ 日本小型株式ファンド	4,352	投資運用業
オーストラリアリートファンド	56,491	投資運用業
カレラ 米国小型株式アクティブファンド	14,605	投資運用業
中欧株式ファンド	13,295	投資運用業

セグメント情報

第9期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

第9期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

1．サービスごとの情報

単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が、損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2．地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦以外の外部顧客からの営業収益がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

投資信託の名称	営業収益	関連するサービスの種類
ニュージーランド株式ファンド	19,935	投資運用業
スイス株式ファンド	15,074	投資運用業
カレラ Jリートファンド	118,720	投資運用業
メキシコ株式ファンド	11,202	投資運用業
オランダ株式ファンド	24,710	投資運用業
カタール・アブダビ株式ファンド	6,779	投資運用業
ロシア株式ファンド	11,671	投資運用業
21世紀東京 日本株式ファンド	26,090	投資運用業
イタリア株式ファンド	14,227	投資運用業
フランス株式ファンド	15,922	投資運用業
3つの財布 欧州リートファンド	85,644	投資運用業
3つの財布 欧州銀行株式ファンド (毎月分配型)	102,515	投資運用業
スロベニア・クロアチア・ギリシャ株式ファンド	6,281	投資運用業
3つの財布 欧州不動産関連株ファンド (毎月分配型)	85,530	投資運用業
3つの財布 米国銀行株式ファンド (毎月分配型)	107,105	投資運用業
テキサス州株式ファンド	20,052	投資運用業

カレラワールド債券アクティブファンド	2,365	投資運用業
フィリピン株式ファンド	3,372	投資運用業
カレラ 日本小型株式ファンド	4,809	投資運用業
オーストラリアリートファンド	49,774	投資運用業
カレラ 米国小型株式アクティブファンド	11,499	投資運用業
中欧株式ファンド	10,834	投資運用業
グローバル医薬品株式ファンド	16,336	投資運用業
カレラ改日本株式ファンド	1,182	投資運用業
未来の光 日本小型株式ファンド	492	投資運用業

（関連当事者との取引）

第8期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

1．関連当事者との取引

（ア）財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金 (百万円)	事業の 内容	議決権等の 被所有割合 (%)	関係内容		取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の 兼任等	事業上 の関係				
親会社	安藤証券（株）	愛知県 名古屋市	2,280	金融商品 取引業者	50.6	あり	投資信託 の販売等	証券代行	544,710	未払手数料	52,503

（注）1 取引金額には消費税等は含んでおりません。

2 取引条件及び取引条件の決定方針等

支払手数料については、一般的な契約条件を参考に価格及びその他の条件を決定しております。

2．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（1）親会社情報

安藤証券株式会社（非上場）

（2）重要な関連会社

該当事項はありません。

第9期（自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日）

1．関連当事者との取引

（ア）財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金 (百万円)	事業の 内容	議決権等の 被所有割合 (%)	関係内容		取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の 兼任等	事業上 の関係				
親会社	安藤証券（株）	愛知県 名古屋市	2,280	金融商品 取引業者	50.6	あり	投資信託 の販売等	証券代行	491,718	未払手数料	40,693

（注）1 取引金額には消費税等は含んでおりません。

2 取引条件及び取引条件の決定方針等

支払手数料については、一般的な契約条件を参考に価格及びその他の条件を決定しております。

2．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（1）親会社情報

安藤証券株式会社（非上場）

（2）重要な関連会社

該当事項はありません。

（ 1株当たり情報 ）

項目	第8期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第9期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
1株当たり純資産額	826,357円45銭	821,186円39銭
1株当たり当期純利益	116,669円28銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	64,828円94銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（注） 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	第8期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第9期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	652,822	648,737
普通株式以外に帰属する純資産合計額(千円)	-	-
普通株式に係る当事業年度末の純資産額(千円)	652,822	648,737
普通株式の当事業年度末株式数(株)	790	790

（注） 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	第8期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第9期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
損益計算書上の当期純利益(千円)	92,168	51,214
普通株式以外に帰属する純利益(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	92,168	51,214
普通株式の当期中平均株式数(株)	790	790

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

以下の内容に更新・訂正いたします。

<更新・訂正後>

受託会社

名 称

三菱UFJ信託銀行株式会社

資本金の額

324,279百万円（2020年10月末日現在）

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

<参考> 再信託受託会社の概要

名 称

日本マスタートラスト信託銀行株式会社

資本金の額

10,000百万円（2020年10月末日現在）

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

関係業務の概要

受託会社より委託を受け、当ファンドの信託事務の一部（信託財産の管理等）を行います。

販売会社

名 称	資本金の額	事業の内容
安藤証券株式会社	2,280百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	48,323百万円	同上
楽天証券株式会社	7,495百万円	同上

2020年12月15日現在

3【資本関係】

<訂正前>

販売会社である安藤証券株式会社は、委託会社であるカレラアセットマネジメント株式会社の株式を400株保有しており、2020年4月末日現在の発行済普通株式数に対する比率は、50.6%です。

その他の上記関係法人との間に資本関係はありません。

<訂正後>

販売会社である安藤証券株式会社は、委託会社であるカレラアセットマネジメント株式会社の株式を400株保有しており、2020年10月末日現在の発行済普通株式数に対する比率は、50.6%です。

その他の上記関係法人との間に資本関係はありません。

独立監査人の監査報告書

令和2年11月30日

カレラアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

UHY東京監査法人

東京都品川区

指定社員

業務執行社員

公認会計士

若槻 明

印

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているメキシコ株式ファンドの令和2年3月17日から令和2年9月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、メキシコ株式ファンドの令和2年9月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、カレラアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、経営者に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

カレラアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注1) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は、当社が別途保管しております。

(注2) X B R L データは監査の対象には含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

令和2年6月8日

カレラアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

UHY東京監査法人

東京都港区

指定社員

公認会計士

若槻 明

印

業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているカレラアセットマネジメント株式会社の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第9期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、カレラアセットマネジメント株式会社の令和2年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注1) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は、当社が別途保管しております。

(注2) X B R L データは監査の対象には含まれておりません。